

2006年度早稲田大学史学会大会ご案内

拝啓 時下ますますご清栄のことと存じます。さて、このたび下記のごとく
2006年度早稲田大学史学会大会を開催いたしますので、ぜひご出席いた
だきますようご案内申し上げます。

敬 具

早稲田大学史学会

会 長 小 倉 欣 一

日 時 10月14日(土) 午前10時より

会 場 早稲田大学文学部校舎

◎研究発表(10時より12時30分まで) 文学部校舎 各会議室

日本史部会 33号館2階第1会議室

- ①神宮祭祀と斎王―三節祭を中心にして―
- ②木村兼葎堂と長崎の交流ネットワーク
- ③占領後期における税金闘争の展開―埼玉県入間郡を事例に―
- ④興福寺における朝拝儀の成立をめぐる

本学部学生 岩 崎 彰 子
大学院学生 孫 曉 艶
大学院学生 鬼 嶋 淳
私立開成学園 石 附 敏 幸

東洋史部会 39号館5階第5会議室

- ①『帰蔵』成立の要因について
- ②北朝における華夷構造―稽胡の事例を中心として―
- ③服飾から見た中世エジプト民衆社会
―15・16世紀のカイロの事例―

大学院学生 川 村 潮
大学院学生 滝 川 正 博
大学院学生 木 村 伸 子

西洋史部会 34号館2階第3会議室

- ①「巡回ラニスタ(lanista circumforaneus)」の史的実在性について
- ②中世初期荘園制と手工業
- ③16世紀中葉のハンザ商人とアムステルダム商人
―1564年の『請願書』を出発点に―

大学院学生 梶 田 知 志
下関市立大学 丹 下 栄
大学院学生 菊 池 雄 太

考古学部会 39号館6階第7会議室

- ①中央ユーラシア東部における初期の鉄器受容とその展開
―新疆ウイグル自治区の青銅器時代から初期鉄器時代を中心に―
- ②中国新石器時代後期における地域間交流
―山西省西南部の土器を中心に―
- ③津堅島キガ浜貝塚の動物遺体分析
―再分析による種同定データから―
- ④エジプト中王国時代の模型について

大学院学生 田 中 裕 子
大学院学生 久保田 慎 二
大学院学生 菅 原 広 史
大学院学生 百 中 さおり

◎総 会 (13時30分より14時まで) 文学部校舎33号館2階第2会議室

◎シンポジウム (14時より17時30分まで) 文学部校舎34号館 453教室

テーマ「文明の比較史―都市と王権をめぐる―」(右に詳細)

◎懇親会 (18時30分より20時30分まで)

会 場 レストラン「西北の風」(右に略図)

会 費 4,000円(院生3,000円、学生2,000円)

早稲田大学史学会 シンポジウム

文明の比較史―都市と王権をめぐる―

歴史は文明の本質に係わる諸状態、たとえば野蛮性と社交性、連帯意識、人間のある集団が他の集団を支配するためのさまざまな方法、それから生ずる王権・王朝、それに係わる各種の身分、さらに人間がみずからの活動と努力によって追求する所得・生計・学問・技術、その他この文明のなかに本質的に生ずるすべての状態を取り扱う。…… 人類が都市の建設に駆り立てられるのは、王権の意志によって強制される場合であり、王権・王朝しか払うことができないような莫大な報酬や賃金に憧れる場合である。したがって都市の建設にとって、王権・王権はなくてはならぬ存在である。……その都市は、しばしば王朝と運命を共にする。……文明の存在しない王朝は考えられず、王権・王権のない文明も不可能である。

イブン=ハルドゥーン、森本公誠訳『歴史序説』岩波文庫

人類は20世紀に世界大戦を二度も繰り返し、資本主義と社会主義陣営の対立は、ベルリンの壁の崩壊とソ連・東欧諸国の体制変革によって終止符が打たれました。しかしアメリカ合衆国の覇権のもとで21世紀を迎えると、2001年9月11日のニューヨークの惨事からアフガニスタン、イラクの戦争が始まり、世界各地で激しい紛争や殺戮が絶えません。昨春わたくしはドイツのフランクフルトで「瓦礫(がれき)の山からの復興」をテーマに戦後史をふりかえる展示や出版物に接して深く感動し、文明の象徴である都市の破壊と再建を本年度のシンポジウムの主題のひとつとして提案しました。史学科四専修で協議を重ねた末に、世界史の古代・中世という時代に遡り、都市の建設・発展・衰退と王権の支配との関係を多様な観点から考察し、文明の比較に及ぶという壮大な計画になりました。古代エジプト、イスラム、中国についての報告とメソポタミアと日本からのコメント、そして活発な討論によって、「歴史と現代」をめぐる歴史学の新たな課題に取り組みたいと思います。多くの皆様の参加をお待ちしております。

(小倉 欣一)

日 時: 2006年10月14日(土) 14時より17時30分まで

場 所: 文学部34号館 453教室

14:00-15:30

司会・趣旨説明

李 成市(東洋史学専修)
小倉 欣一(西洋史学専修)

報 告 「古代エジプトの場合」
「イスラムの場合」
「中国の場合」

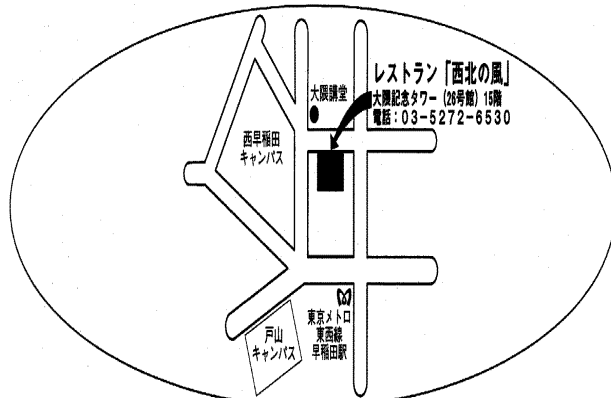
近藤 二郎(考古学専修)
佐藤 次高(東洋史学専修)
妹尾 達彦(中央大学)

15:40-17:30

コメント

前田 徹(西洋史学専修)
川尻 秋生(日本史学専修)

討 論



(懇親会会場略図)